

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立弁天小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・1年間の取り組みおよび評価について妥当であった。
- ・運営の計画について、次年度への改善点が明確に示されている。
- ・体力、学力ともに改善が見られた。数値だけでなく、教職員が子どもたちの実際の様子にも目を向けているのがわかった。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- ・不登校の在籍比率が増加しているが、諸機関との連携や保健室を中心とした組織で対応にあたり、登校日の増加などの一定の成果が見られたことは評価できる。オンライン学習などをすすめて学力保証をすすめてほしい
- ・「自分から進んであいさつしている」の肯定的回答の割合が上がったのはよかった。あいさつについては、今後も継続して取り組んでほしい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- ・教育アンケート「算数科の授業は好きですか。」の肯定的な回答が向上していた。今年度の取り組みの効果とうかがえる。
- ・教育アンケート「話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答が増えている。対話的な活動をこれからも取り入れてもらいたい。
- ・全国体力・運動能力調査における体力合計点で、令和4年度を上回ることができた。また、教育アンケートにおける「運動やスポーツが好きですか。」に対する肯定的な回答も上昇している。これからも運動好きな子どもを育ててほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- ・児童の端末活用率があがってきている。ICTの活用した教育の推進については、端末の持ち帰りや「心の天気」など取り組みを進めてほしい。
- ・教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合は100%であることは評価できる。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・あいさつについての指導をすすめてほしい。保護者への啓発も必要である。
- ・運動場の改修工事について、児童の運動量の確保に取り組む必要がある